

令和7（2025）年度 岡山県立大学入学者選抜における変更について（予告）

令和4年12月27日

令和4年度から施行された新しい高等学校学習指導要領等を踏まえ、令和7年度（令和6年度実施）岡山県立大学入学者選抜を次のとおり変更する予定ですので、お知らせします。

なお、内容は現時点のものであり、今後の状況により変更となる場合がありますので、本学からの発表に注意してください。

記

1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）の変更

各学科のアドミッション・ポリシーを別紙1のとおり変更します。

2 令和7年度入学者選抜試験における変更

（1）募集人員の変更

保健福祉学部現代福祉学科の募集人員を別紙2のとおり変更します。

（2）出願資格・選抜方法・配点の変更

ア 一般選抜の選抜方法・配点を別紙3のとおり変更します。

イ 特別入試（総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試）の出願資格・選抜方法・配点を別紙4のとおり変更します。

（3）旧教育課程履修者等に対する経過措置（令和7年度入学者選抜試験に限ります）

一般選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学が行う個別学力検査等における、旧教育課程履修者等に対する経過措置は次のとおりです。

ア 大学入学共通テストの利用教科・科目

旧教育課程履修者等は、別紙3のとおり、旧教育課程により出題される科目（「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」、「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」、「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧数学Ⅱ」、「旧簿記・会計」、「旧情報関連基礎」、「旧情報（仮）」）を選択解答することができることとします。

なお、新教育課程履修者は、これらの旧教育課程により出題される科目を選択解答することはできないこととします。

イ 本学が行う個別学力検査等

(ア) 一般選抜（個別学力検査）（別紙 3 のとおり）

区分	教科・科目	経過措置の内容
保健福祉学部 栄養学科 (前期日程)	理科（「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1）	旧教育課程履修者等に対しては、出題する問題の内容によって配慮を行います。
情報工学部 (前期日程) (中期日程)	数学（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B（数列）」、「数学C（ベクトル・平面上の曲線と複素数平面）」）	旧教育課程履修者等に対しては、出題する問題の内容によって配慮を行います。

(イ) 総合型選抜（個人面接における試問）（別紙 4 のとおり）

区分	教科・科目	経過措置の内容
保健福祉学部 現代福祉学科	公民「公共」	旧教育課程履修者等に対しては、旧教育課程における科目（「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」又は「旧倫理、旧政治・経済」）から1科目を選択することができることとします。

(注) 新教育課程履修者及び旧教育課程履修者等の定義は次のとおりです。

新教育課程履修者	<p>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者</p> <p>② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者</p>
旧教育課程履修者等	<p>上記以外の者</p> <p>* 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者</p>

※ 「新教育課程」とは、令和4年4月1日から施行された新しい高等学校学習指導要領（平成30年文部科学省告示第68号）に基づく教育課程をいい、「旧教育課程」とは、平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいいます。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

※ 下線部分が変更箇所

岡山県立大学の入学者受入れの方針**【教育を通じて発展・向上させる能力】**

岡山県立大学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として、平成5年に設立されました。

本学は、建学の理念の実現に向け、人間・社会・自然の関係性を重視した研究と教育を行い、豊かな人間性と教養を兼ね備え、深い専門性をもって主体的に課題発見・解決に取り組むことにより、グローバル化が進展する中、地域社会から広く国際社会において活躍し、新しい時代を切り拓くための能力と意欲を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

本学は、人材育成の方針に基づき、本学での学びに適う能力及び素養を、入学者が備えるべきものとして、以下のとおり定めます。

本学は、学生に高等学校等において主体的で継続的な学習により幅広い分野での基礎学力を身につけていることを求めるとともに、これらの知識に基づく論理的な思考力や表現力、基礎的な英語力を含めたコミュニケーション能力ならびに人間性や倫理観などの素養を磨いておくことを求めます。

【入学者選抜の基本方針】

本学は、入学者に求める能力・素養を有しかつ、多様な学生を受け入れるため、以下の選抜の方針を基本として、教育課程ごとに定められた入学者受入れの方針に従い、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜などの入学者選抜の機会を設けます。

一般選抜では、教科に関する知識・理解及び思考力・判断力・表現力を評価する学力検査を重視し、さらに高等学校等で修得した教科の学習成績及び主体的学習活動の成果を評価するために調査書等や面接を活用した選抜を行います。

また、総合型選抜では、地域社会の発展に貢献する意欲ならびに主体的学習活動の成果をふまえ多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する調査書と面接を重視し、さらに思考力・判断力・表現力を評価する学力検査による選抜を行います。

さらに、学校推薦型選抜では、本学での学習の準備状況及び意欲を評価する面接を重視し、さらに教科に関する知識・理解及び思考力・判断力・表現力に関する学力検査ならびに高等学校等で修得した教科の学習成績及び主体的学習活動の成果を評価するために調査書等を活用した選抜を行います。

以上のほか、課程により帰国生入試及び私費外国人留学生入試を実施し、多様な人材の受入れを行います。

なお、各教育課程の入学者選抜における選抜方法及び評価基準については、以上の選抜の方針をふまえた上で、課程ごとの入学者受入れの方針に示されます。

保健福祉学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

保健福祉学部では、地域の人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる保健、医療、福祉、教育に関する幅広い知識と技術を修得し、専門分野に関する課題に対して科学的、論理的思考や分析に基づいて主体的に解決する能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに多様な人々と協働して社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

保健福祉学部の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかりと身につけておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

【入学者選抜の基本方針】

保健福祉学部の各学科では、上記のような学生を多面的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程、後期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。なお、現代福祉学科では総合型選抜を実施します。各学科の高等学校等で修得すべき具体的な内容や入試区分・方法・評価基準については、各学科のアドミッション・ポリシーをご覧ください。

看護学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

看護学科は、人々が健康で豊かなその人らしい人生が実現できるように、看護の専門的知識と技術を活かして、地域におけるあらゆる健康レベルの人々の生涯を通じた健康を支援し、地域社会、国際社会に貢献できる看護専門職の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

看護学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、看護の多様な側面を学ぶ上で必要な理数系及び文科系科目の基礎学力をしっかりと身につけておいてください。

さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、人々の健康に関心をもち主体性をもって多様な人々と協働する態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語:文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な文章表現力

数学:「数学Ⅰ・数学A」における基礎的内容の理解と論理的思考力

英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力

理科:理科における自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力

社会:地理歴史・公民における人間を取り巻く社会の仕組みと生活との関連を理解するための基礎的な知識

情報:情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

看護学科では、上記のような学生を多面的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程、後期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、面接及び書類審査(調査書+志望理由書等)により評価します。

(前期日程・後期日程)

大学入学共通テストで6教科6科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や看護学を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に大学入学共通テストの英語では、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

面接では、調査書による資格・検定試験の成績、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、海外留学等の経験の確認を含め、志望理由書も参考にしながら表現力、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等(小論文、面接(英語試問含む)及び書類審査(調査書+推薦書+志望理由書等))により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では調査書による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等(小論文、面接及び書類審査(調査書+推薦書+志望理由書等))により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査(調査書等)による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接及び書類審査(身上記録+志望理由書等)を課します。

日本留学試験では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力、表現力、さらに本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要な自然科学・生命科学に関する知識・技能を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。また、身上記録や志望理由書を参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

栄養学科の入学受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

栄養学科は、人間、健康、社会に関する幅広い知識と論理的な思考力をもって、食と健康の相互関係を科学的に理解し、多様な人々と協働して栄養学を人の健康維持・増進、病気の予防・治療へと応用するとともに未知なる事象の解明に向けて主体的に研究する姿勢を身に付け、岡山県から広く地域社会、国際社会に貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

栄養学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、幅広い科目における基礎学力、特に栄養学の理解に必要となる「化学」や「生物」などの自然科学の基礎をしっかり身につけてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性・倫理観などの素養を磨いてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科:物理、化学、生物の中から2科目以上の基本的内容の理解と、化学もしくは生物に関する応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学:数学における基礎的な内容の理解と応用力

英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と英語の学習習慣

国語:文章読解力と、論理的思考に基づいて行った自らの判断を正しく伝えるための基礎的な文章表現力

社会:地理歴史・公民における基礎的な内容の理解

情報:情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

栄養学科では、上記のような学生を多面的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程、後期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト及び書類審査(調査書+志望理由書等)により評価します。前期日程では個別学力検査等を課します。

(前期日程)

大学入学共通テストで6教科6科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査等では理科1科目(化学基礎・化学又は生物基礎・生物)を課し、本学科で学ぶ上で基礎となる自然科学・生命科学に関する知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

書類審査では、調査書による研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、志望理由書も参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

(後期日程)

大学入学共通テストで6教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価

します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

書類審査では、調査書による研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、志望理由書も参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【学校推薦型選抜】 令和6年度入試から変更(令和3年9月16日公表済)

個別学力検査等(面接(理科、英語試問を含む)及び書類審査(調査書+推薦書+志望理由書等))により評価します。

面接では調査書による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。理科の試問(化学基礎・生物基礎)では、化学基礎と生物基礎において基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

【帰国生入試】 令和6年度入試から変更(令和3年9月16日公表済)

個別学力検査等(面接(理科試問を含む)及び書類審査(調査書+推薦書+志望理由書等))により評価します。

面接では書類審査(調査書等)による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。理科の試問(化学基礎・生物基礎)では、化学基礎と生物基礎において基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接及び書類審査(身上記録+志望理由書等)を課します。

日本留学試験では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力、表現力、さらに本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要な自然科学・生命科学に関する知識・技能を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。また、理科の試問では基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。さらに、身上記録や志望理由書を参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

現代福祉学科の入学受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

現代福祉学科は、少子高齢社会やグローバル社会といった複雑化する現代社会において生じている多様な社会的、個人的ニーズを科学的に解明し、すべての人々の健康と幸福の増進のために、介護福祉学を含む社会福祉学関連の学問を基盤に、グローバルセンスをもって地域社会や国際社会に能動的、創造的に貢献できるソーシャルワーカー等の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

現代福祉学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い教科における基礎学力、特に「国語」「英語」「地理歴史・公民」などの基礎をしっかりと身につけてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、岡山県内から広く地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、英語を含むコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語：文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための表現力

社会：地理歴史・公民における基礎的な内容の理解と論理的思考力

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力

数学：基礎的な内容の理解と論理的思考力

理科：基礎的な概念・原理・法則の理解及び自然を総合的に見る能力

情報：情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

【入学選抜の基本方針】

現代福祉学科では、上記のような学生を多面的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、面接及び書類審査(調査書+志望理由書等)により評価します。

(前期日程)

大学入学共通テストで3教科3科目を課し(国語・英語必須)、高等学校等で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では、調査書による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、資格・検定試験の成績、研究活動やボランティア活動の実績、海外留学等の経験の確認を含め、志望理由書も参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力を評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等(面接(英語、公共の試問を含む)及び書類審査(調査書+志望理由書等))により評価します。

面接では、岡山県をはじめ、地域社会や国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲を重視しつつコミュニケーション能力、倫理観とともに評価します。書類審査(調査書等)では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、資格・検定試験の成績、研究活動やボランティア活動の実績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、志望理由書も参考にしながら、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、地域社会や国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に多様な人々と協働して学び続けようとする態度を評価します。また、試問(公共)では、基礎的な知識・技能、及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等(小論文、面接(英語試問含む)及び書類審査(調査書+推薦書+志望理由書等))により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では調査書による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、推薦書や志望理由書も参考にしながら、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等(小論文、面接及び書類審査(調査書+推薦書+志望理由書等))により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査(調査書等)による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接及び書類審査(身上記録+志望理由書等)を課します。

日本留学試験では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力、表現力、さらに本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要な国語に関する知識・技能を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。また、身上記録や志望理由書を参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

子ども学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

子ども学科は、少子社会の到来の中、すべての子どもたちの健全育成と子育てしやすい社会環境づくりが重要視されている現代社会において、子どもの育ちと支援にかかわる理論を理解し、子どもの学びと育ちを支えることのできる実践力と生涯学び探求し続ける姿勢を身につけた保育・幼児教育分野で活躍できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

子ども学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い教科における基礎学力、特に「国語」や「地理歴史・公民」などの社会科学の基礎をしっかりと身につけておいてください。これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力、英語を含むコミュニケーション能力を磨いてください。それと共に、学校行事や課外活動、地域活動への参加を通し、様々な体験を重ねるなかで、子どもの立場から考え、実践するために必要となる豊かな感性、倫理観、岡山県内から広く地域社会・国際社会において多様な人々と協働して学

ぶ態度や表現力などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語:文章読解力と論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための表現力

社会:地理歴史・公民における基礎的な内容の理解と論理的思考力

英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力

数学:基礎的な内容の理解と論理的思考力

理科:基礎的な内容の理解と論理的思考力

情報:情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

子ども学科では、上記のような学生を多元的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程、後期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、面接及び書類審査(調査書+志望理由書等)により評価します。

(前期日程・後期日程)

大学入学共通テストで3教科3科目を課し(国語・英語必須)、高等学校等で修得すべきかつ本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能とそれに基づく思考力や判断力、表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では、調査書による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基礎学力、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績等の確認を含め、志望理由書も参考にしながら思考力や判断力、表現力、専門職への志向性、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等(小論文、面接(英語試問含む)及び書類審査(調査書+推薦書+志望理由書等))により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では調査書による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、英語の試問、推薦書や志望理由書も参考にしながら、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、思考力や判断力、表現力、専門職への志向性、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等(小論文、面接及び書類審査(調査書+推薦書+志望理由書等))により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、文章読解力、論理的な思考に基づく判断力及び自らの考えを正しく伝える表現力を評価します。面接では書類審査(調査書等)による高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の基本的理解、研究活動、クラブ・委員会活動やボランティア活動等の課外活動の実績、資格・検定試験の成績、海外留学等の経験の確認を含め、推薦書や志望理由書も参考にしながら国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力、思考力や判断力、表現力、専門職への志向性、主体性をもって多様な人々と協働する態度やコミュニケーション能力、倫理観を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接及び書類審査(身上記録+志望理由書等)を課します。

日本留学試験では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能、及びそれらに基づく思考力・判断力、表現力、さらに本学で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要な国語に関する知識・技能を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

面接では日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。また、身上記録や志望理由書を参考にしながら主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

情報工学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報工学とは、情報の伝送・認識・処理・利用にかかわるハードウェアとソフトウェアの技術を研究開発するための学問です。情報工学部は、情報通信工学科、情報システム工学科、人間情報工学科の3学科で構成され、情報工学の知識を基盤に、電子・通信工学、機械工学、人間工学等の関連工学分野の知識を複合的に修得し、豊かな教養と人間性に基づいてそれらを総合的に活用し、グローバルな視点と主体性・協調性をもって人間及び環境との調和を図りながら高度情報化社会の持続的発展に貢献できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報工学部の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

【入学者選抜の基本方針】

情報工学部の各学科では、上記のような学生を多面的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程、中期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。各学科の高等学校等で修得すべき具体的な内容や入試区分・方法・評価基準については、各学科のアドミッション・ポリシーをご覧ください。

情報通信工学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報通信工学科は、日々進歩し続ける情報通信技術(ICT)を支えている情報工学、通信工学、電子工学の3つの学問領域を共通の基盤として、各種情報システムの知能化等に必要となるソフトウェア技術及びシステムの超高速化等に欠かせないハードウェア技術を有し、ICTの利用者視点を理解するとともに、豊かな教養と人間性に基づくグローバルな視点から主体性・協調性をもって社会に貢献できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報通信工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科:物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学:数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・Cにおける内容の理解と応用力

英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力

国語:文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な(文章)表現力

情報:情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

情報通信工学科では、一般選抜(前期日程、中期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査(調査書等)により評価します。

(前期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ情報通信工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。

(中期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ情報通信工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

【学校推薦型選抜】

面接(試問を含む)及び書類審査(調査書、推薦書)により評価します。

面接(試問を含む)では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

書類審査(調査書、推薦書)では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

【帰国生入試】

面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報通信工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報通信工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験(日本語、理科(物理必須)、数学)では、情報通信工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。

情報システム工学科の入学受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

情報システム工学科は、コンピュータの発展に貢献できる情報工学、力学に基礎を置くものづくりのための機械工学、人間と機械やコンピュータを結び付けるインタフェース工学などの学問を修得し、領域横断型のエンジニアとしてのセンスと主体性・協調性をもって、グローバル社会において豊かな教養と人間性に基づき、新たな工学的価値の創出に積極的に参加できる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

情報システム工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力

数学:数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・Cにおける内容の理解と応用力
英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力
国語:文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な(文章)表現力
情報:情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

情報システム工学科では、一般選抜(前期日程、中期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査(調査書等)により評価します。

(前期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ情報システム工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。

(中期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ情報システム工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

【学校推薦型選抜】

面接(試問を含む)及び書類審査(調査書、推薦書)により評価します。

面接(試問を含む)では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・Ⅲ・C並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

書類審査(調査書、推薦書)では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

【帰国生入試】

面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報システム工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、情報システム工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験(日本語、理科(物理必須)、数学)では、情報システム工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。

人間情報工学科の入学受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

人間情報工学科は、人間の生活環境を支える情報工学と、人間の能力や特性をモデル化する生体機能学、情報技術をもつくり活かした機器設計学の3つの学問領域に関する深い知識及び技術の活用と、豊かな教養と人間性に基づき、グローバルな視点から多種多量な情報が組み込まれた人間との高い親和性をもつ新たなソフトウェア・ハードウェアの設計・開発ができる技術者の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

人間情報工学科の教育を通じて発展・向上させる能力に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力、特に専門教育の理解に必要な「数学」や「物理」などの基礎をしっかりと身に付けておいてください。さらに、これらの基礎的知識に基づく論理的な思考力・判断力・表現力、国内及び国際社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いておいてください。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

理科：物理における内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力
化学、生物、地学の中から1科目以上の内容の理解と応用力、特に自然現象の理解に必要な知識と論理的思考力、実験データの解析力、表現力
数学：数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳにおける内容の理解と応用力
英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力
国語：文章読解力と、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な(文章)表現力
情報：情報Ⅰにおける内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

人間情報工学科では、一般選抜(前期日程、中期日程)、特別入試(学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施し、複数の入学選抜方式を採用することにより、多様な人材の受入れを目指します。そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

大学入学共通テスト、個別学力検査及び書類審査(調査書等)により評価します。

(前期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ人間情報工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、前期日程では、大学入学共通テストに比重を置き、幅広い教科・科目の知識・技能と、これに基づく思考力・判断力・表現力等を重視します。

(中期日程)

大学入学共通テストで5教科7科目を課し、高等学校等で修得すべきかつ人間情報工学科で学ぶために必要な基礎的知識・技能や専門分野を理解するために必要となる幅広い教科・科目の知識・技能及びそれらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。特に英語の大学入学共通テストでは、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

個別学力検査では数学(数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)を課し、記述式により解答させ、基礎知識、計算力、論理的な思考力、アイデア及び明快かつ正確な表現力などについて総合評価します。

書類審査(調査書等)では、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

なお、中期日程は前期日程より個別学力検査に比重を置き、数理的思考力、論理的表現力等を重視します。

【学校推薦型選抜】

面接(試問を含む)及び書類審査(調査書、推薦書)により評価します。

面接(試問を含む)では、論理的思考に基づき自らの考えを正しく伝えるための基礎的な表現力、人間性や倫理観を評価するとともに、各教科の試問では以下に着目します。数学、物理の試問では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ並びに物理基礎・物理における基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

書類審査(調査書、推薦書)では、高等学校等で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能とともに、生徒会活動、クラブ活動及び海外留学の実績を参考にして、主体性をもって多様な人々と協働する態度を評価します。

【帰国生入試】

面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、人間情報工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。英語の試問では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

【私費外国人留学生入試】

日本留学試験、TOEFL(iBT)、面接(試問を含む)及び書類審査(身上記録、志望理由書等)により評価します。

面接では、出願書類(身上記録、志望理由書等)に基づき、日本語による個人面接を行い、理解力とともに論理的思考に基づき自らの考えを正しく表現できる日本語の表現力、学習意欲、コミュニケーション能力、主体性をもって多様な人々と協働する態度、倫理観を評価します。また、数学、物理の試問では、人間情報工学科で学ぶ上で必要となる基礎的な知識・技能及びそれらに基づく論理的思考力・判断力・表現力を評価します。

TOEFL(iBT)では、国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力を評価します。

日本留学試験(日本語、理科(物理必須)、数学)では、人間情報工学科で学ぶために必要な日本語能力や専門分野を理解するために必要な数学、物理に関する基礎学力を評価します。

デザイン学部の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

デザイン学部では、学部の基礎的な共通教育に加えて、各分野の専門教育により、人間・社会・自然の調和を目指したデザインを創造できる能力を身に付け、課題を主体的に発見・解決し、地域・国際社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

デザイン学部では、教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等において、主体性をもって学習することにより、幅広い科目における基礎学力をしっかりと身に付けていることを求めます。さらに、デザインを学ぶ上で基礎となる知識・技能と、これらに基づく論理的な思考力・判断力・表現力、地域や社会において多様な人々と協働して学ぶ態度、日本語と英語によるコミュニケーション能力、豊かな人間性、倫理観などの素養を磨いてください。

そして、大学で身につけた知識と技能を活かして、岡山県をはじめとした地域や社会の持続的発展に貢献しようとする強い意欲をもつ人を求めます。

【入学者選抜の基本方針】

デザイン学部の各学科では、上記のような学生を多面的な評価尺度で選抜するために、一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

そのため、学科ごとの入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

ビジュアルデザイン学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

ビジュアルデザイン学科では、様々なメディアを横断する視覚伝達の知識・技能を基盤に、グラフィック・映像各分野の専門性を修得することにより、地域・国際社会の持続的発展に、主体的に寄与するグラフィックデザイナー・映像クリエイターの育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

ビジュアルデザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等で学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、ビジュアルデザイン各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・提案を進めるために必要な思考力と構成力・表現力を求めます。また、自然・文化・社会のモノ・コトを観察するとともに、その関係を考察する態度、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語:国際社会におけるコミュニケーションに必要となる基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力

国語:文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力

数学:数理的な基礎能力

理科・地理歴史・公民:基礎的な学習内容の理解

情報:問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力(知識及び技能)

美術:工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

ビジュアルデザイン学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

(前期日程)

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び書類審査(調査書等)により評価します。

大学入学共通テストで5教科5科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。論理的思考力、基礎的な英語力、問題解決に向けての能力を評価するため、国語、英語、情報を必須とします。また、残る2科目は選択とします。

個別学力検査等では実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察力や技術力を評価します。

書類審査では調査書等により、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績や資格・検定試験の成績を評価します。また生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では、実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の描写)を課し、読解力・空間や立体物等の把握力・思考に基づく判断力・技術力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書により各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績を評価します。また、志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。加えて、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲とともに総合的に評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、推薦書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では、実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察力や技術力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書により各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を評価します。また、推薦書や志望理由書を参考にしながら社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等及び書類(調査書、推薦書、志望理由書等)を参考にした面接により評価します。

個別学力検査等では、実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・技術力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

個別学力検査等及び書類(志望理由書等)を参考にした面接、日本留学試験、TOEFL(iBT)により評価します。

TOEFL(iBT)では国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験から、高等学校等で修得すべき教科・科目の知識・技能として、「日本語の文書能力」の基礎的な能力を評価します。

個別学力検査等では、実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な日常的な観察に基づく思考力・技術力を評価します。

面接及び書類審査では、日本語による個人面接を行い、志望理由書を参考にしながら、社会に対する興味関心、日本語の理解力と表現力、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

工芸工業デザイン学科の入学受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

工芸工業デザイン学科では、立体的な造形教育の知識・技能を基盤に、工芸的で緻密なデザイン制作と工業的で合理的なデザイン開発に関わる幅広い知識と技能を学び、産業界や地域・国際社会で活躍でき、また社会の持続的発展に主体性を持って貢献できる人材の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

工芸工業デザイン学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等で学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、工芸工業デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、デザインを進めるために必要な造形力・表現力、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語：国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語力と長期的な英語学習を見据えた基礎学力

国語：文章読解力と、論理的思考による自らの判断や考えを正しく伝えるための文章構成・表現力

数学：数理的な基礎能力

理科：地理歴史・公民：基礎的な学習内容の理解

情報：問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力(知識及び技能)

美術：工芸・デザインなどにおける学科の専門性と深く関連した内容の理解と応用力

【入学者選抜の基本方針】

工芸工業デザイン学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

(前期日程)

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び書類審査(調査書等)により評価します。

大学入学共通テストでは4教科4科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。論理的思考力、基礎的な英語力、問題解決に向けて情報を扱う能力を評価するため、国語、英語、情報^①を必須とします。また、残る1科目は選択とします。

個別学力検査等では実技(鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

書類審査では調査書等により、デザインなどの専門的な分野における実績、資格・検定試験の成績を評価します。また、生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では実技(鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績を評価します。また、志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。加えて、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲とともに総合的に評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、推薦書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では実技(鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を理解し構成する能力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書により各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。また、推薦書や志望理由書を参考にしながら社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、推薦書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では実技(鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査(志望理由書等)、日本留学試験、TOEFL(iBT)により評価します。

TOEFL(iBT)では国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験から、高等学校等で修得すべき教科・科目の知識・技能として、「日本語の文書能力」の基礎的能力を評価します。

個別学力検査等では実技(鉛筆デッサン)を課し、限られた時間内に対象を客観的に判断する能力や構成力、対象を描写するために必要な観察に基づく思考力・判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、日本語による個人面接を行い、志望理由書を参考にしながら、社会に対する興味関心、日本語の理解力と表現力、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

建築学科の入学者受入れの方針

【教育を通じて発展・向上させる能力】

建築学科では、建築設計を中心にインテリアから地域計画に至るまで、建築に関わる幅広い知識と高度な技能を修得し、建築設計分野で国際・地域社会の持続的発展に、主体的に寄与する建築家や建築分野の専門家の育成を目指します。

【入学者に求める能力・素養】

建築学科が教育目標に掲げる人材を育成するために、高等学校等で学習する幅広い分野の基礎学力を身に付けていることを求めます。

特に、コミュニケーション能力、数理的・論理的な思考力と表現力、自然・文化・社会についての基礎的な知識を求めます。

また、建築デザインの各分野における専門的な知識と技能を学び、企画・設計を進めるために必要な、基礎的な立体・空間把握力、現実の建築や空間・都市を持続的に観察し、人間の行動や心理を考察する力、地域・国際社会において多様な人々と主体的に協働して学ぶ態度を求めます。

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

英語:コミュニケーション、文章読解、文章表現に必要な英語力の長期的な学習を見据えた基礎学力
国語:文章読解力と、論理的思考による自らの判断を正しく伝えるための文章構成・表現力
数学:数理的な基礎能力と、論理的に解を導き出す思考力
理科・地理歴史・公民:基礎的な学習内容の理解
情報:問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための能力(知識及び技能)
美術:立体・空間の構成力と表現力

【入学者選抜の基本方針】

建築学科では、多様な学生を受け入れるために一般選抜(前期日程)、特別入試(総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生入試、私費外国人留学生入試)を実施します。

そのため、以下の入試区分・方法・評価基準に基づき、選抜を行います。

入学者選抜における選抜方法及び評価基準

【一般選抜】

(前期日程)

大学入学共通テスト、個別学力検査等及び書類審査(調査書等)により評価します。

大学入学共通テストで5教科6科目を課し、本学で学ぶために必要な基礎的知識、それらに基づく思考力・判断力・表現力を評価します。基礎的な論理的思考力、英語力、問題解決に向けて情報を扱う能力を評価するため、国語、数学①、数学②、英語、情報を必須とします。また、残る1科目は選択とします。

個別学力検査等では、実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)を課し、空間や立体物等の把握力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

書類審査では調査書等により、デザインなどの専門的な分野において秀でた業績、資格・検定試験の成績を評価します。また生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。

【総合型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では、実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)を課し、空間や立体物等の把握力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書により各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績を評価します。また、志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、多様な経験を含め、コミュニケーション能力、倫理観を評価します。加えて、岡山県をはじめ、地域社会・国際社会の発展に貢献しようとする強い意欲及び主体的に学び続けようとする態度を、副専攻の「岡山創生学課程」の受講意欲とともに総合的に評価します。

【学校推薦型選抜】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、推薦書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、建築・都市・空間等に関する観察力や人間の行動・心理に関する考察力、自らの考え・理解を正しく伝えるための文章構成・表現力、論理的思考力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績や生徒会活動、課外活動、地域貢献等、多様な経験を参考に主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を評価します。また、推薦書や志望理由書を参考にしながら社会への興味関心、多様な経験の確認を含め、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力をともに総合的に評価します。

【帰国生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査(調査書、推薦書、志望理由書等)により評価します。

個別学力検査等では小論文を課し、建築・都市・空間等に関する観察力や人間の行動・心理に関する考察力、自らの考え・理解を正しく伝えるための文章構成・表現力・思考力を評価します。

面接及び書類審査では、調査書による各教科・科目の学力評価、デザインに関連する実績、資格・検定試験の成績、多様な経験の確認を含め、推薦書や志望理由書を参考にしながら、社会への興味関心、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

【私費外国人留学生入試】

個別学力検査等、面接及び書類審査(志望理由書等)、日本留学試験、TOEFL(iBT)により評価します。

TOEFL(iBT)では国際社会におけるコミュニケーションに必要な基礎的な英語能力を評価します。また、日本留学試験では、「日本語の文書能力」や「数学の基礎的能力」を評価します。

個別学力検査等では実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)を課し、空間や立体物等の把握力、思考に基づく判断力・表現力を評価します。

面接及び書類審査では、日本語による個人面接を行い、志望理由書を参考にしながら、社会に対する興味関心、日本語の理解力と表現力、大学における学習意欲、国際社会を含む多様な人々と協働して主体的に学ぶ態度やコミュニケーション能力、倫理観を総合的に評価します。

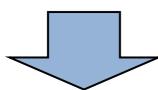
令和 7(2025)年度入学者選抜における募集人員の変更

保健福祉学部

<令和5年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所

学 科	入学 定員	左のうち				
		一般選抜			総合型選抜	学校推薦型 選抜
		前期日程	中期日程	後期日程		
現代福祉学科	35 人	<u>17 人</u>	—	<u>4 人</u>	<u>3 人</u>	11 人

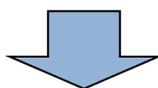


(参考)令和 3 年 9 月 16 日公表

<令和6年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所、カッコ内は令和5年度からの増減

学 科	入学 定員	左のうち				
		一般選抜			総合型選抜	学校推薦型 選抜
		前期日程	中期日程	後期日程		
現代福祉学科	35 人	<u>16 人</u> (1 人減)	—	<u>3 人</u> (1 人減)	<u>5 人</u> (2 人増)	11 人



<令和7年度入学者選抜>

※下線部分が変更箇所、カッコ内は令和5年度からの増減

学 科	入学 定員	左のうち				
		一般選抜			総合型選抜	学校推薦型 選抜
		前期日程	中期日程	後期日程		
現代福祉学科	35 人	<u>16 人</u> (1 人減)	—	<u>2 人</u> (4 人減)	<u>7 人</u> (4 人増)	<u>12 人</u> (1 人増)

令和 7 (2025) 年度入学者選抜試験における変更 (一般選抜の選抜方法・配点)

※下線部分が変更箇所

<保健福祉学部看護学科 (前期日程)>

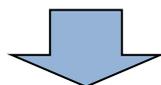
令和 5 年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	100	
	地理歴史	「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」, 「日本史B」,「地理A」,「地理B」	から1 (注1)	100	
	公民	「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」, 「倫理,政治・経済」		100	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	100	
5教科5科目 又は 5教科6科目	理科	「物理基礎」,「化学基礎」, 「生物基礎」,「地学基礎」	から2:①	①又は② (注2)	100
		「物理」,「化学」,「生物」,「地学」	から1:②		
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40
計				600	
個別学力 検査等	集団面接及び書類審査(調査書及び志望理由書等)			100	
配点合計				700	

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) ①又は②(2科目を解答した場合は第1解答科目)のうち、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和 7 年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	100	
	地理歴史	「地理総合,地理探究」,「歴史総合,日本史 探究」,「歴史総合,世界史探究」,「地理総 合,歴史総合,公共」	から1 (注1)	100	
		「旧世界史A」,「旧世界史B」,「旧日本史 A」,「旧日本史B」,「旧地理A」,「旧地理B」			
	公民	「公共,倫理」,「公共,政治・経済」,「地理総 合,歴史総合,公共」(再掲)			
「旧現代社会」,「旧倫理」,「旧政治・経済」, 「旧倫理,旧政治・経済」					
6教科6科目	数学	「数学Ⅰ,数学A」	必須	100	
		「旧数学Ⅰ・旧数学A」			
	理科	「物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基 礎」,「物理」,「化学」,「生物」,「地学」	から1 (注2)	100	
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:100 リスニング:100
	情報	「情報Ⅰ」	必須	50	
		「旧情報(仮)」			
計				650	
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査(調査書及び志望理由書等)			100	
配点合計				750	

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) 2科目を解答した場合は、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

<保健福祉学部看護学科（後期日程）>

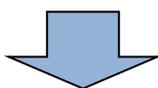
令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200	
	地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」	から1 (注1)	100	
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」			
	数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	50	
5教科5科目 又は 5教科6科目	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」	から2:①	①又は② (注2)	50
		「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	から1:②		
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40
計				600	
個別学力 検査等	集団面接及び書類審査(調査書及び志望理由書等)			100	
配点合計				700	

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) ①又は②(2科目を解答した場合は第1解答科目)のうち、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200	
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史 探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総 合、歴史総合、公共」	から1 (注1)	100	
		「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史 A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」			
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総 合、歴史総合、公共」(再掲)			
「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、 「旧倫理、旧政治・経済」					
6教科6科目	数学	「数学Ⅰ、数学A」	必須	50	
		「旧数学Ⅰ・旧数学A」			
	理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基 礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	から1 (注2)	50	
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:100 リスニング:100
	情報	「情報Ⅰ」	必須	50	
		「旧情報(仮)」			
計				650	
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査(調査書及び志望理由書等)			100	
配点合計				750	

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) 2科目を解答した場合は、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

<保健福祉学部栄養学科（前期日程）>

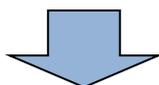
令和5年度入試

試験区分	教科	科目			配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」			必須	200	
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」			から1 (注1)	100	
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」					
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」			必須	200	100/科目
		「数学Ⅱ・数学B」			必須		100/科目
	5教科7科目 又は 5教科8科目	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」	から2	から3:① (注2)	①又は②	200
「物理」、「化学」、「生物」			から1		100		
「物理」、「化学」、「生物」			から2:②		100/科目		
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」			必須	200	リーディング:160 リスニング:40	
計					900		
個別学力 検査等	理 科	「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」		から1	200	試験時間:120分	
	※解答科目は試験会場で選択可能。選択科目間で平均点に著しい差が生じた場合は、得点調整を行うことがあります。						
書類審査(調査書及び志望理由書等)					(10)	個別学力検査等の 範囲内で加算	
配点合計					1,100		

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) 同一名称を付した科目(例、「化学基礎」と「化学」)の選択を認めます。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目			配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」			必須	200	
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合、歴史総合、公共」			から1 (注1)	100	
		「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」					
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」(再掲)					
		「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」					
	数 学	「数学Ⅰ、数学A」			から1 (注2)	100	
		「旧数学Ⅰ・旧数学A」					
		「数学Ⅱ、数学B、数学C」					
6教科6科目	「旧数学Ⅱ・旧数学B」						
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」(注3)、「物理」、「化学」、「生物」		から1 (注1)	100		
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」			必須	200	リーディング:100 リスニング:100	
情 報	情報Ⅰ			必須	50		
	「旧情報(仮)」						
計					750		
個別学力 検査等	理 科 (注4)	「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」		から1	200	試験時間:120分	
	※解答科目は試験会場で選択可能。選択科目間で平均点に著しい差が生じた場合は、得点調整を行うことがあります。						
書類審査(調査書及び志望理由書等)					(10)	個別学力検査等の 範囲内で加算	
配点合計					950		

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) 2科目を解答した場合は、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

(注3) 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2つを選択してください。

(注4) 旧教育課程履修者等に対しては、出題する問題の内容によって配慮を行います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

＜保健福祉学部栄養学科（後期日程）＞

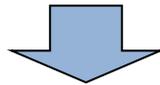
令和5年度入試

試験区分	教科	科目			配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」			必須	100	
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」			から1 (注1)	50	
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」					
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」			必須	200	100/科目
		「数学Ⅱ・数学B」			必須		100/科目
5教科7科目 又は 5教科8科目	理 科	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」	から2	から3:① (注2)	200	①又は②	100
		「物理」、「化学」、「生物」	から1				100
		「物理」、「化学」、「生物」		から2:②			100/科目
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」			必須	200	リーディング:160 リスニング:40
計						750	
個別学力 検査等	課さない					0	
書類審査(調査書及び志望理由書等)					(10)	配点合計の範囲内 で加点	
配点合計						750	

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) 同一名称を付した科目(例、「化学基礎」と「化学」)の選択を認めます。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目			配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」			必須	100	
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合、歴史総合、公共」			から1 (注1)	50	
		「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」					
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」(再掲) 「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」					
	数 学	「数学Ⅰ、数学A」			から1 (注2)	100	
「旧数学Ⅰ・旧数学A」							
「数学Ⅱ、数学B、数学C」							
「旧数学Ⅱ・旧数学B」							
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」(注3)、「物理」、「化学」、「生物」			から2 (注4)	200	100/科目
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」			必須	200	リーディング:100 リスニング:100
	情 報	情報Ⅰ			必須	50	
		「旧情報(仮)」					
計						700	
個別学力 検査等	課さない					0	
書類審査(調査書及び志望理由書等)					(10)	配点合計の範囲内 で加点	
配点合計						700	

(注1) 2科目を解答した場合は、第1解答科目の得点を入学者選抜に用います。

(注2) 2科目を解答した場合は、得点の高い方を選んで入学者選抜に用います。

(注3) 物理基礎、化学基礎、生物基礎から2つを選択してください。

(注4) 同一名称を付したものの(例、「化学基礎」と「化学」)の選択を認めます。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

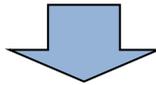
<保健福祉学部現代福祉学科（前期日程）>

令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考		
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200		
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	から1又は2（理科の 「基礎を付した科目」か ら2） （注）	100		
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」				
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」				
	3教科3科目 又は 3教科4科目	理科			「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」	から2
					「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	
外国語	「英語（リスニングの成績も利用する）」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40		
計				500		
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）			100		
配点合計				600		

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（最終頁）も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200	
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合、歴史総合、公共」	から1 （注）	100	
		「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」			
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」（再掲）			
		「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」			
	3教科3科目	数学			「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」
					「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」
					「数学Ⅱ、数学B、数学C」
					「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」
	理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」			
情報	情報Ⅰ				
	「旧情報（仮）」				
外国語	「英語（リスニングの成績も利用する）」	必須	200	リーディング:100 リスニング:100	
計				500	
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）			100	
配点合計				600	

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（最終頁）も参照してください。

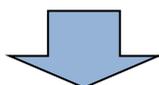
＜保健福祉学部現代福祉学科（後期日程）＞

令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200	
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	から1又は2（理科の 「基礎を付した科目」か ら2） (注)	100	
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」			
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」			
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」			
3教科3科目 又は 3教科4科目		「物理」、「化学」、「生物」、「地学」			
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40
	計			500	
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査(調査書及び志望理由書等)			100	
配点合計				600	

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

募集を停止します。(別紙2のとおり)

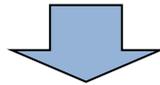
<保健福祉学部子ども学科（前期日程）>

令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考		
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200		
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	から1又は2（理科の 「基礎を付した科目」か ら2） （注）	200		
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」				
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」				
	3教科3科目 又は 3教科4科目	理科			「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」	から2
					「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	
外国語	「英語（リスニングの成績も利用する）」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40		
計				600		
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）			100		
配点合計				700		

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（最終頁）も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200	
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合、歴史総合、公共」	から1 （注）	100	
		「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」			
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」（再掲）			
		「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」			
	3教科3科目	数学			「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」
					「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」
					「数学Ⅱ、数学B、数学C」
					「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」
	理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」			
情報	情報Ⅰ				
	「旧情報（仮）」				
外国語	「英語（リスニングの成績も利用する）」	必須	200	リーディング:100 リスニング:100	
計				500	
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）			100	
配点合計				600	

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（最終頁）も参照してください。

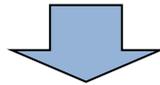
<保健福祉学部子ども学科（後期日程）>

令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考		
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200		
	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」	から1又は2（理科の 「基礎を付した科目」か ら2） （注）	200		
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」				
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」				
	3教科3科目 又は 3教科4科目	理科			「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」	から2
					「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	
外国語	「英語（リスニングの成績も利用する）」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40		
計				600		
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）			100		
配点合計				700		

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科（基礎を付さない科目）」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（最終頁）も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200	
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」、「地理総合、歴史総合、公共」	から1 （注）	100	
		「旧世界史B」、「旧日本史B」、「旧地理B」			
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」（再掲）			
		「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」			
	3教科3科目	数学			「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」
					「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」
					「数学Ⅱ、数学B、数学C」
					「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」
	理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」			
情報	情報Ⅰ				
	「旧情報（仮）」				
外国語	「英語（リスニングの成績も利用する）」	必須	200	リーディング:100 リスニング:100	
計				500	
個別学力 検査等	個人面接及び書類審査（調査書及び志望理由書等）			100	
配点合計				600	

（注） 解答した全ての科目（「地理歴史と公民」及び「理科」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

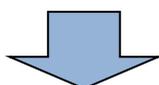
※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項（最終頁）も参照してください。

<情報工学部情報通信工学科・情報システム工学科・人間情報工学科（前期日程）>

令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	100	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	100	50
		「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」	から1		50
	理科	「物理」	必須	200	100
		「化学」,「生物」,「地学」	から1		100
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40	
計			600		
個別学力 検査等	数学	「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」, 「数学A」,「数学B(数列・ベクトル)」	300	試験時間:120分 解答方法:記述式	
	書類審査(調査書等)		(10)	個別学力検査等の 範囲内で加点	
配点合計			900		

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	100	
	数学	「数学Ⅰ,数学A」	必須	100	50
		「旧数学Ⅰ・旧数学A」			
		「数学Ⅱ,数学B,数学C」	必須		50
		「旧数学Ⅱ・旧数学B」,「旧簿記・会計」,「旧情報関係基礎」			
	理科	「物理」	必須	200	100
		「化学」,「生物」,「地学」	から1		100
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:100 リスニング:100	
情報	情報Ⅰ	必須	50		
	「旧情報(仮)」				
計			650		
個別学力 検査等	数学 (注)	「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」, 「数学A」,「数学B(数列)」,「数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)」	300	試験時間:120分 解答方法:記述式	
	書類審査(調査書等)		(10)	個別学力検査等の 範囲内で加点	
配点合計			950		

(注) 旧教育課程履修者等に対しては、出題する問題の内容によって配慮を行います。

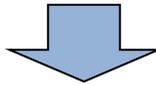
※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

<情報工学部情報通信工学科・情報システム工学科・人間情報工学科（中期日程）>

令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	100	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	100	50
		「数学Ⅱ・数学B」,「簿記・会計」,「情報関係基礎」	から1		50
	理科	「物理」	必須	150	100
		「化学」,「生物」,「地学」	から1		50
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	100	リーディング:80 リスニング:20	
計			450		
個別学力 検査等	数学	「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」, 「数学A」,「数学B(数列・ベクトル)」	300	試験時間:120分 解答方法:記述式	
	書類審査(調査書等)		(10)	個別学力検査等の 範囲内で加点	
配点合計			750		

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	100	
	数学	「数学Ⅰ,数学A」	必須	100	50
		「旧数学Ⅰ・旧数学A」			
		「数学Ⅱ,数学B,数学C」	必須		50
		「旧数学Ⅱ・旧数学B」,「旧簿記・会計」,「旧情報関係基礎」			
	理科	「物理」	必須	150	100
		「化学」,「生物」,「地学」	から1		50
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	100	リーディング:50 リスニング:50	
情報	情報Ⅰ	必須	50		
	「旧情報(仮)」				
計			500		
個別学力 検査等	数学 (注)	「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」, 「数学A」,「数学B(数列)」,「数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)」	300	試験時間:120分 解答方法:記述式	
	書類審査(調査書等)		(10)	個別学力検査等の 範囲内で加点	
配点合計			800		

(注) 旧教育課程履修者等に対しては、出題する問題の内容によって配慮を行います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

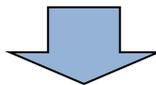
<デザイン学部ビジュアルデザイン学科（前期日程）>

令和5年度入試

試験区分	教科	科目		配点	備考		
大学入学 共通テスト	国語	「国語」		必須	150		
	地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」	から1	から2又は3(理 科の「基礎を付 した科目」から2 及び理科以外 の教科の科目 から1) (注)	200	100/科目・基礎 付き2科目	
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理政治・経済」					
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」	から1				
	4教科4科目 又は 4教科5科目	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」				から2:①
			「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」				から1:②
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須				150
計					500		
個別学力 検査等	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)				300	試験時間:180分 B3ケントボード使用	
	書類審査(調査書等)				(10)	個別学力検査等の 範囲内で加点	
配点合計					800		

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目		配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」		必須	200	
	地理歴史	「地理総合,地理探究」,「歴史総合,日本史探 究」,「歴史総合,世界史探究」,「地理総合,歴 史総合,公共」	から1	から2 (注)	200	100/科目
		「旧世界史A」,「旧世界史B」,「旧日本史A」,「旧日 本史B」,「旧地理A」,「旧地理B」				
	公民	「公共,倫理」,「公共,政治・経済」,「地理総合,歴 史総合,公共」(再掲)	から1			
		「旧現代社会」,「旧倫理」,「旧政治・経済」,「旧倫 理,旧政治・経済」				
	5教科5科目	数学	「数学Ⅰ,数学A」,「数学Ⅰ」			
「旧数学Ⅰ」,「旧数学Ⅰ・旧数学A」						
「数学Ⅱ,数学B,数学C」 「旧数学Ⅱ・旧数学B」,「旧簿記・会計」,「旧情報 関係基礎」						
理科	「物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎」,「物 理」,「化学」,「生物」,「地学」	から1				
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」		必須	200	リーディング:100 リスニング:100	
情報	情報Ⅰ		必須	50		
	「旧情報(仮)」					
計					650	
個別学力 検査等	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)				400	試験時間:180分 B3ケントボード使用
	書類審査(調査書等)				(10)	個別学力検査等の 範囲内で加点
配点合計					1050	

(注) 解答した全ての科目のうち、得点の高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

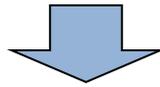
<デザイン学部工芸工業デザイン学科（前期日程）>

令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	100	
	地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」	から1又は2(理 科の「基礎を付 した科目」から 2) (注)	100	
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」			
	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」			
	3教科3科目 又は 3教科4科目	理科			「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」
			「物理」、「化学」、「生物」、「地学」		
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	100	
		計		300	
個別学力 検査等	実技(鉛筆デッサン)			300	解答時間:180分 B3ケントボード使用
	書類審査(調査書等)			(10)	個別学力検査等の 範囲内で加点
		配点合計		600	

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200	
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴 史総合、世界史探究」、「地理総合、歴史総合、公共」	から1 (注)	100	
		「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史 B」、「旧地理A」、「旧地理B」			
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、 公共」(再掲)			
		「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政 治・経済」			
	4教科4科目	数 学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」		
			「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」		
「数学Ⅱ、数学B、数学C」 「旧数学Ⅱ」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、「旧 情報関係基礎」					
理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」、「物理」、「化 学」、「生物」、「地学」				
外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:100 リスニング:100	
情 報	情報Ⅰ	必須	50		
	「旧情報(仮)」				
		計		550	
個別学力 検査等	実技(鉛筆デッサン)			500	解答時間:180分 B3ケントボード使用
	書類審査(調査書等)			(10)	個別学力検査等の 範囲内で加点
		配点合計		1050	

(注) 解答した全ての科目のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

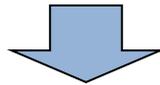
<デザイン学部建築学科（前期日程）>

令和5年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考	
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200	
	地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」	から1:①	(100) ※	※地理歴史、公民、理科のいずれかで100
	公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」	①、②又は③(注)		
	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」	から1	100	
	4教科5科目 又は 4教科6科目	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」	から2:②	(100) ※
		「物理」、「化学」、「生物」、「地学」	から1:③		
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:160 リスニング:40
計				700	
個別学力 検査等	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)			200	解答時間:120分 A3用紙使用
	書類審査(調査書等)			(10)	個別学力検査等の範囲内で加点
配点合計				900	

(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科(基礎を付さない科目)」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。



令和7年度入試

試験区分	教科	科目	配点	備考		
大学入学 共通テスト	国語	「国語」	必須	200		
	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、「地理総合、歴史総合、公共」	から1:①	①又は②(注)	(100) *	*「地理歴史と公民」、「理科」のいずれかで100
		「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、 「旧地理A」、「旧地理B」				
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、「地理総合、歴史総合、公共」(再掲)	から1	必須	100	
		「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」				
5教科6科目	数学	「数学Ⅰ、数学A」、「数学Ⅰ」、 「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」	から1	必須	100	
		「数学Ⅱ、数学B、数学C」、 「旧数学Ⅱ」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧簿記・会計」、 「旧情報関係基礎」	から1	必須	100	
	理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」、「物理」、 「化学」、「生物」、「地学」	から1:②	①又は②(注)	(100) *	*「地理歴史と公民」、「理科」のいずれかで100
	外国語	「英語(リスニングの成績も利用する)」	必須	200	リーディング:100 リスニング:100	
	情報	情報Ⅰ	必須	50		
		「旧情報(仮)」				
計				750		
個別学力 検査等	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)			200	解答時間:120分 A3用紙使用	
	書類審査(調査書等)			(10)	個別学力検査等の範囲内で加点	
配点合計				950		

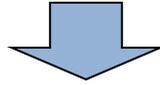
(注) 解答した全ての科目(「地理歴史と公民」及び「理科」において2科目を解答した場合は、それぞれ第1解答科目)のうち、得点の最も高いものを選んで入学者選抜に用います。

※ 大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項(最終頁)も参照してください。

(大学入学共通テストにおける学部共通の注意事項)

令和5年度入試

- 1 「簿記・会計」と「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- 2 「英語(リスニングの成績も利用する)」については、「リーディング」及び「リスニング」の両方の解答を必須とします。ただし、重度難聴などで「リスニング」を免除された者を除きます。
なお、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」の得点を外国語の教科の配点に換算します。
- 3 理科の「基礎を付した科目」は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」を指し、理科の「基礎を付さない科目」は、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」を指します。



令和7年度入試

- 1 「英語(リスニングの成績も利用する)」については、「リーディング」及び「リスニング」の両方の解答を必須とします。ただし、重度難聴などで「リスニング」を免除された者を除きます。
なお、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」の得点を外国語の教科の配点に換算します。
- 2 大学入学共通テストにおいて、旧教育課程により出題される経過措置科目は、「旧世界史A」、「旧世界史B」、「旧日本史A」、「旧日本史B」、「旧地理A」、「旧地理B」、「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」、「旧倫理、旧政治・経済」、「旧数学Ⅰ」、「旧数学Ⅰ・旧数学A」、「旧数学Ⅱ・旧数学B」、「旧数学Ⅱ」、「旧簿記・会計」、「旧情報関係基礎」、「旧情報(仮)」であり、旧教育課程履修者等はこれらの科目を選択解答することができますが、新教育課程履修者は選択解答することができません。
旧教育課程履修者等のうち、「旧簿記・会計」と「旧情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
また、「地理歴史と公民」において、新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせて選択解答することはできません。
なお、新教育課程履修者及び旧教育課程履修者等の定義は次のとおりです。

新教育課程履修者	① 高等学校(特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。)に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者
旧教育課程履修者等	上記以外の者 * 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校(文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。)修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

※ 「新教育課程」とは、令和4年4月1日から施行された新しい高等学校学習指導要領(平成30年文部科学省告示第68号)に基づく教育課程をいい、「旧教育課程」とは、平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいいます。

令和7年度入学者選抜試験における変更（特別入試（総合型選抜、
学校推薦型選抜、帰国生入試）の出願資格・選抜方法・配点）

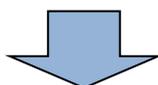
※下線部分が変更箇所

1 総合型選抜

(1) 出願資格

令和5年度入試

学 部	学 科	要 件
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	本学での勉学に強い意欲があり、合格した場合必ず入学することを確約できる者
	工芸工業デザイン学科	
	建築学科	



令和7年度入試

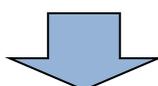
学 部	学 科	要 件
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	本学での勉学及び <u>地域社会や国際社会への貢献</u> に強い意欲があり、合格した場合必ず入学することを確約できる者
	工芸工業デザイン学科	
	建築学科	

(2) 選抜方法・配点

令和5年度入試

学 部	学 科	個 別 学 力 検 査 等	配 点	配点合計	備 考
保健福祉学部	現代福祉学科	個人面接*及び書類審査 ※試問(英語、公民)を含む	100	100	試問(公民)は、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」又は「倫理、政治・経済」から1科目を選択してもらいます。
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の描写)	200	400	試験時間:120分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	300	500	試験時間:120分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	建築学科	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)	<u>150</u>	<u>300</u>	試験時間:120分 A3用紙使用
個人面接及び書類審査		<u>150</u>			

(注) 令和5年度大学入学共通テストは課しません。



令和7年度入試

学 部	学 科	個 別 学 力 検 査 等	配 点	配点合計	備 考
保健福祉学部	現代福祉学科	個人面接*及び書類審査 ※試問(英語、公民「 <u>公共</u> 」)を含む	100	100	試問(公民)について、旧教育課程履修者等は、旧教育課程における科目(「旧現代社会」、「旧倫理」、「旧政治・経済」又は「旧倫理、旧政治・経済」)から1科目を選択することができます。
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす立体物の描写)	200	400	試験時間:120分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	300	500	試験時間:120分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	建築学科	実技(与えられた条件(図や文章)を満たす図形の作図)	<u>200</u>	<u>400</u>	試験時間:120分 A3用紙使用
個人面接及び書類審査		<u>200</u>			

(注) 令和7年度大学入学共通テストは課しません。

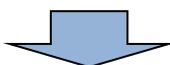
2 学校推薦型選抜（選抜方法・配点）

令和5年度入試

学部	学科	個別学力検査等	配点	配点合計	備考
保健福祉学部	看護学科	小論文	200	300	試験時間:120分
		個人面接*及び書類審査 ※試問(英語)を含む	100		
	栄養学科	小論文	50	200	試験時間:120分 試問(理科)は、「化学基礎」及び「生物基礎」の2科目から出題します。ただし、これら2科目のうち1科目のみを履修している場合は、当該1科目からの出題とし、1科目当たりの問題数を2倍に行います。
		個人面接*及び書類審査 ※試問(英語、理科)を含む	150		
現代福祉学科 子ども学科	小論文	200	400	試験時間:120分	
	個人面接*及び書類審査 ※試問(英語)を含む	200			
情報工部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	個人面接*及び書類審査 ※試問(数学、理科及び英語)を含む	200	200	試問(数学)は、「数学Ⅰ」、「数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」及び「数学Ⅲ」から、試問(理科)は、「物理基礎」及び「物理」から出題します。
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	建築学科	小論文	150	300	試験時間:120分
		個人面接及び書類審査	150		

(注1) 令和5年度大学入学共通テストは課しません。

(注2) 合否の判定に当たって、各学科の学校推薦型選抜募集人員による合格者の中に、「専門学科のうち職業系学科」又は「総合学科」を卒業する見込みの者がいない場合は、当該者のうち基準点以上の成績最上位者1人を別枠で合格者とします。



令和7年度入試

学部	学科	個別学力検査等	配点	配点合計	備考
保健福祉学部	看護学科	小論文	200	300	試験時間:120分
		個人面接*及び書類審査 ※試問(英語)を含む	100		
	栄養学科 令和6年度入試から 変更(令和3年9月 16日公表済)	個人面接*及び書類審査 ※試問(英語、理科)を含む	150	150	試験(理科)は、「化学基礎」及び「生物基礎」の2科目から出題します。ただし、これら2科目のうち1科目のみを履修している場合は、当該1科目からの出題とし、1科目当たりの問題数を2倍に行います。
		現代福祉学科 子ども学科	小論文	200	400
個人面接*及び書類審査 ※試問(英語)を含む	200				
情報工部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	個人面接*及び書類審査 ※試問(数学、理科及び英語)を含む	200	200	試問(数学)は、「数学Ⅰ」、「数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B」、「数学Ⅲ」及び「数学C」から、試問(理科)は、「物理基礎」及び「物理」から出題します。
デザイン学部	ビジュアルデザイン学科	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180分 B3ケントボード使用
		個人面接及び書類審査	200		
	建築学科	小論文	200	400	試験時間:120分
		個人面接及び書類審査	200		

(注1) 令和7年度大学入学共通テストは課しません。

(注2) 合否の判定に当たって、各学科の学校推薦型選抜募集人員による合格者の中に、「専門学科のうち職業系学科」又は「総合学科」を卒業する見込みの者がいない場合は、当該者のうち基準点以上の成績最上位者1人を別枠で合格者とします。

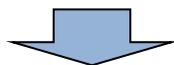
3 帰国生入試（選抜方法・配点）

令和5年度入試

学部	学科	個別学力検査等	配点	配点合計	備考
保健福祉部	看護学科	小論文	200	300	試験時間:120分
		個人面接(日本語)及び書類審査	100		
	栄養学科	小論文	50	200	試験時間:120分 試問(理科)は、「化学基礎」及び「生物基礎」の2科目から出題します。ただし、これら2科目のうち1科目のみを履修している場合は、当該1科目からの出題とし、1科目当たりの問題数を2倍に行います。
		個人面接(日本語) [*] 及び書類審査 ※試問(理科)を含む	150		
	現代福祉学科 子ども学科	小論文	200	400	試験時間:120分
		個人面接(日本語)及び書類審査	200		
情報工部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	個人面接(日本語) [*] 及び書類審査 ※試問(数学、物理及び英語)を含む	200	200	
デザイン部	ビジュアルデザイン学科	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180分 B3ケントボード使用
		個人面接(日本語)及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	100	200	試験時間:180分 B3ケントボード使用
		個人面接(日本語)及び書類審査	100		
	建築学科	小論文	150	300	試験時間:120分
		個人面接(日本語)及び書類審査	150		

(注1) 令和5年度大学入学共通テストは課しません。

(注2) 小論文及び実技は日本語で出題します。



令和7年度入試

学部	学科	個別学力検査等	配点	配点合計	備考
保健福祉部	看護学科	小論文	200	300	試験時間:120分
		個人面接(日本語)及び書類審査	100		
	栄養学科 令和6年度入試から変更(令和3年9月16日公表済)	個人面接(日本語) [*] 及び書類審査 ※試問(理科)を含む	150	150	試験時間:120分 試問(理科)は、「化学基礎」及び「生物基礎」の2科目から出題します。ただし、これら2科目のうち1科目のみを履修している場合は、当該1科目からの出題とし、1科目当たりの問題数を2倍に行います。
		現代福祉学科 子ども学科	小論文	200	
	個人面接(日本語)及び書類審査	200			
情報工部	情報通信工学科 情報システム工学科 人間情報工学科	個人面接(日本語) [*] 及び書類審査 ※試問(数学、物理及び英語)を含む	200	200	
デザイン部	ビジュアルデザイン学科	実技(想定描写を含む鉛筆デッサン)	200	400	試験時間:180分 B3ケントボード使用
		個人面接(日本語)及び書類審査	200		
	工芸工業デザイン学科	実技(鉛筆デッサン)	100	200	試験時間:180分 B3ケントボード使用
		個人面接(日本語)及び書類審査	100		
	建築学科	小論文	200	400	試験時間:120分
		個人面接(日本語)及び書類審査	200		

(注1) 令和7年度大学入学共通テストは課しません。

(注2) 小論文及び実技は日本語で出題します。